

- ◆企画名 図書館の使い方ガイド～なにがいけないの？編～
- 日程 2023年6月15日（木）～11月24日（金）
- 場所 千里山キャンパス総合図書館、各種 SNS（Instagram・X）
- 参加者数 8名（ピア・サポーター3名、研修生4名、シニア・サポーター1名）

目的

新入生・在學生に、図書館のルールやマナーを周知・徹底することを目的とする。

内容

新入生や在學生に気持ち良く図書館を利用してもらうために、ルールやマナーを周知する企画である。
 飲食禁止・騒音禁止・資料の取扱いなどの図書館利用におけるルールやマナーをイメージ化したポスターを総合図書館で掲示するとともに、KU コアラの SNS を通じて周知した。



効果

- ・新入生・在學生に図書館のルールやマナーを周知・徹底することができたか。

図書館のルールやマナーを知ってもらうことができたかについては、総合図書館内の目につきやすい箇所に複数枚ポスターを掲示したため、不特定多数の学生の目に触れることができたと考えられる。そのため、総合図書館を利用する新入生・在學生への周知には一定程度の効果があったと考える。

KU コアラの SNS でもポスターを添付した投稿を実施した。X では、インプレッション数※1 が 100～300 と、多くの利用者の目に留まったといえる。また、エンゲージメント※2 がおよそ 15 あったことから、返信欄に記載した各ポスターの詳細※3 にも一定数目を通してもらえたことが分かる。

本企画ではアンケートを実施しておらず、実際の学生の声を聴くことができていないため、ルールやマナーを徹底してもらえたのかについては、適切に評価することが難しい。

※1 どれだけのユーザーにこの投稿が閲覧されたかを示す数値
 ※2 その投稿を見て、いいね、リポスト、投稿の詳細の閲覧など、何かしらの行動をとったことを示す値
 ※3 X の一投稿当たりの文字数制限により、各ポスターに記載されたマナーについての説明（なぜ守らなければならないのか等）は投稿の返信欄に記載した。

改善点

今回のような発信型の企画では、実際に目的を達成できた（効果があった）のかを図ることが非常に難しい。そのため、収集率が低くなる可能性はあるが、アンケートを実施するほうが効果を図ることができたと考える。

また、年間を通して実施する計画であったため、KU コアラの SNS での投稿を春学期 4 枚、秋学期 4 枚ずつに分けて投稿する予定であった。しかしながら、秋学期にはスケジュールの都合上 KU コアラの SNS における発信を実施できなかった。計画段階で、先の見通しを立ててスケジュールを組むべきであった。

感想

- ・1枚のポスターで一般学生の関心を集め、内容に目を通してもらえるデザインや言葉選びが難しく、ポスター制作のスキルを磨く必要があると感じた。
- ・自分たちが作成したポスターが総合図書館内に多数掲示されているのを見た時、自分自身もみんなが気持ち良く図書館を利用できるように、行動に気を付けようと思うきっかけになった。